

第 334 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 平成 29 年 9 月 5 日 (火) 11:55～13:15
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取合評 [番組名] ミューグレ～music the great deep
[放送日時] 平成 29 年 8 月 19 日(土)6:30～7:00
[出演者] 梅田英春、バグース長谷川
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 副委員長 角田哲康
委員 小野晃司 委員 服部乃利子 委員 高木邦子
- [会社] 代表取締役社長 営業本部長 上野豊
常務取締役放送事業本部長 竹内照夫
放送事業本部副本部長 兼 編成制作部長 久保田克敏
編成制作部制作担当部長 寺田和史

5. 事務局報告

- 生ワイド番組検証会実施の件

6. 番組審議

- [対象番組] ミューグレ～music the great deep
[放送日時] 平成 29 年 8 月 19 日(土)6:30～7:00
[出演者] 梅田英春、バグース長谷川
[番組内容] ジャンルや海を越えて広がる音楽の世界を楽しむ
2 人が、音楽談義に花を咲かす。

[聴取・合評での主な意見]

木宮委員長 A. まずはこの番組の開始経緯をお教え頂きたい。
Q. 事務局より経緯を説明。

角田委員 極めて趣味的な番組なので、このままで良いといえば良い。番組に品がある。ただし、番組の前後でのナレーションのトーンが本編違い、メリハリがない。30分番組で6曲は、やや多い。曲についての2人の専門的な解説が聴きたい。もったいない構成だ。ノンBGMなので、余計に淡々とした雰囲気となってしまう。

服部委員 2 人の仲の良さが感じ取れる。ソフトで優しい時間が流れる。テーマに即したこだわりの選曲で、丁寧な準備を感じる。30 分の長さがギリギリであろう。エンディングにはメリハリが欲しい。

- 高木委員 1 テーマで様々なアプローチを試みる、好きなタイプの番組。ありそうで、なかなかない選曲。いわば、「ながら聴取ができるトリビア番組」だ。音楽の、適度なつまみ食い感覚が心地よい。
- 小野委員 前後のナレーションは、まるでオンライン配信の授業のようだ。授業を聴いている感覚で、K-mix の通常番組と比べ違和感がある。トークに深みが無く、淡々と聴こえる。プロフェッショナルな2人なのだから、もう一步深い、本音が聴きたい。
- 木宮委員長 番組ごと K-mix に移籍し、聴取リスナー数が飛躍的に増大した時点で、前と同じ作り方で良いのか？2人の趣味を、2人の間で発表しているだけで、リスナーサイドに向いていない。例えば、初心者リスナーにはどちらがしゃべっているのかも分からない。リスナーを意識した番組作り・K-mix らしさのあるリニューアルが必要だと考える。早朝というよりは、深夜番組のテイストを感じる。
- 会社サイド 前回(第 333 回)では、番組全体の雰囲気を高評価して頂いた一方、ブルーという音楽ジャンルに対する敷居の高さを解消する工夫などについてご指摘頂きました。今後の番組作りに反映させ、改善するようにいたします。

次回開催日 平成 29 年 10 月 3 日 (火) 11:50~13:00 を予定

以上

番組審議会委員長

木 宮 敬 信